

健

康

講

座

発行：たたらりハビリテーション病院
社保・共同組織委員会
092 (691) 5508 (八田1丁目4-66)

ニュース

2013年

4月10日発行

<たたらりハビリテーション病院の理念>

1. 人としての尊厳、患者の人権を尊重し、無差別・平等の医療をすすめます。
2. 安全・安心・信頼の医療を進めます。
3. 地域の健康づくりに取り組み、安心して住み続けられるまちづくりをめざします。

「認知症サポーター養成講座」開催。

～ 認知症と物忘れのちがい。なるほど！～



4月5日(金)特別養護老人ホームいきいき八田地域交流スペースで病院主催の健康講座で「認知症サポーター養成講座」を開催し36人(地域28人病院8)が参加しました。

高齢の方ほど発症率が高くなるといわれる認知症、高齢化の進展により認知症の方は増加すると予想されています。ご自身や家族が認知症になる可能性もけして低くありません。



この講座は厚生労働省がすすめる認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す一環で、認知症の知識を学び地域で認知症の方や家族を温かく見守る応援者を広める取り組みです。受けられた方がサポーターとなり出来る範囲で活動いただければよいものです。(たとえば、友人や家族に認知症に関する知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として、できる範囲で手助けをする、など。)これをしなくてはいけないというものではありません。



今回は、講師に福岡医療団介護支援センターの矢野所長を招き、当病院では3年ぶりと言うこともあり地域から多くの方が受講されました。参加者からは認知症と物忘れのちがい。過介護に注意！うつ病との因果関係。目的(仕事)与えることも大切など。なるほど！とうなずく場面も沢山あり受講して良かったとの声が聞かれました。また、いつでも学習の振り返りが出来るように、みなさんへテキストを準備。受講後にはサポーターの目印「オレンジリング」を配付しました。



この「オレンジリング」が認知症の方とその家族を支援する連繋の「印」になるようなまちを目指していきます。